

## 解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 助動詞 can は、「～できる」〈能力・可能〉、「～かもしれない、可能性がある」〈推量・可能性〉、「～してもよい」〈許可〉、「～してもらえますか」〈依頼〉などと訳せる。  
これらの意味の共通点を大きくイメージして、can 全体の持つニュアンスをとらえるよう心がける。
- He **can** play the piano. 「彼はピアノを弾ける。」〈能力・可能〉  
cf. □ He plays the piano. 「彼はピアノを弾ける。」  
※楽器の演奏や外国語を話すなどの技能を伴う動作は、can がなくても「～できる」の意味を含むと考えるとよい。
- I **can't** help you anymore. 「もうこれ以上あなたのお役には立てません。」〈能力・可能〉  
□ I **cannot** thank her enough. 「彼女にはどんなに感謝しても感謝しきれない。」〈可能〉  
□ You **can't** do that. 「(あなたはそれをできない→) それをしてはいけない。」〈口語・禁止〉  
※否定形は cannot または can't を用いる。can not はふつう使わない。
- Too much exercise **can** damage your health. 「過度の運動は健康を損ねかねない。」〈可能性〉  
□ **Can** I get you some water? 「水を持ってこようか。」〈提案〉  
※提案表現では、Could I ~? の方がより丁寧。ただ、相手の利益になるときは Can がふつう。
- **Can** you get me some water? 「水を持ってきてくれるかな。」〈依頼〉  
※依頼表現では、Will you ~? が主に相手の〈意志〉を問うのに対し、Can you ~? は相手の状況が〈可能〉かを問うニュアンスが強い。
- You **can** take it if you want. 「ほしければ持って行っていいよ。」〈許可〉  
※ may の方がより堅い〈許可〉「～してよろしい」のニュアンスになる。

## A 演習 1 : 基本問題 和訳しなさい。

1. What can I do for you?  
「  
」
2. Can I use your bathroom?  
「  
」
3. You can call me if you are in trouble.  
「  
」
4. You can't keep pets in this apartment.  
「  
」
5. A small step can make a big difference.  
「  
」

## 演習 1 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「あなたのために私に何ができますか (いらっしゃいませ / 何でしょうか)。」 ※店員の接客や見知らぬ人に声をかけられたときの定番表現。〈提案・可能〉を表す can。
2. 「お手洗いを借りていいですか。」 ※〈依頼・許可〉を表す can。日本語では「トイレを借りる」というが、英語では use 「使う」を使う。
3. 「困ったら私に電話していいですよ。」 ※〈許可〉を表す can。
4. 「このアパートではペットを飼えない。」 ※〈不可能・不許可〉を表す can't。この主語の you は「(一般的な)人」を表す。なお、mustn't [must not] はより〈強い禁止〉を表す。
5. 「小さな一歩が大きな変化をもたらす可能性がある (もたらすかもしれない)。」 ※〈可能性・推量〉を表す can。make a difference は「変化 (影響) を与える」という類出表現。

## 解説 2

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- be able to 「～できる」〈可能・能力〉は、can を使えるときにあえて使うとやや堅いニュアンスになる。また、次の場合には can を使えないので、be able to を使う。
- will, may, must などの助動詞に続く場合
- In a few decades, people will **be able to** fly to the moon.  
「数十年後には、人々は月に旅行できるようになるだろう。」
- She may **be able to** make the Olympic team.  
「彼女はオリンピックチームの一員になれるかもしれない。」
- to 不定詞や完了の助動詞 have に続く場合
- I want to **be able to** swim at least 50 meters.  
「私は少なくとも 50 メートルは泳げるようになりたい。」
- She hasn't **been able to** sleep well recently. 「彼女は最近よく眠れていない。」
- 過去の特定の出来事の成功を表す場合は、was/were able to の方が好まれる (①)。一方、過去の継続的な能力を表す場合は、could の方が好まれる (②)。
- He **was able to** run 1.5 kilometers within 5 minutes yesterday. - ①  
「彼は昨日、1.5 キロを 5 分以内で走れた。」
- He **could** run 1.5 kilometers within 5 minutes as a high school student. - ②  
「彼は高校生のとき、1.5 キロを 5 分以内で走れた。」

## B 演習 2 : 基本問題 和訳しなさい。

- The firefighters were able to rescue the children from the forest fire.  
「  
」
- I will be able to leave the hospital in a few days.  
「  
」
- You have to be able to use this software for the job.  
「  
」
- Would you be able to stand up?  
「  
」

## 演習 2 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 「消防士たちは、山火事から子どもたちを救出することができた。」 ※過去の特定の出来事の成功を表す be able to。なお、この were able to を could にすると「消防士たちは、～を救出できるかもしれない。」という現在の控えめな推量の意味にもとれる。
- 「私は数日後に退院できるだろう。」 ※助動詞 will を伴うので be able to を使う。
- 「その仕事のためにはこのソフトウェアを使えなくてはならない。」 ※助動詞扱いの have to (to 不定詞が続く) を伴うので be able to を使う。なお、この have to を must にすると「あなたは～を～に～に違いない」という〈強い推量〉の意味にもとれる。
- 「お立ちいただいてもよろしいですか。」 ※ Would you ～? は〈丁寧な依頼〉を表し、Would you be able to ～? 「～していただくことは可能ですか、～していただけますか」はさらに丁寧になる。そのまま覚えてしまうとよい。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A	/5
B	/4

検印

## 解説 3

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 助動詞 **could** は、「～できた」〈過去の継続的な能力〉・「(もしかしたら) ～かもしれない」〈控えめな推量〉・「(できれば) ～していただけますか」〈控えめな依頼〉・「(もし～ならば) ～できるだろうに」〈仮定法〉などと訳せる。過去以外の意味があるので、文脈判断が必要。
- He **could** run 1.5 kilometers within 5 minutes.  
「彼は 1.5 キロを 5 分以内で走れるかもしれない (～で走れた。)」(※どちらの意味にもとれる)
- Her son **could** ride a bicycle at the age of 3.  
「彼女の息子は 3 歳にして自転車に乗れた。」〈過去の継続的な能力〉
- **could** は、can より控えめ、あるいは丁寧な、現在の〈推量〉や〈依頼〉を表せる。can を過去形にすることで仮定的なニュアンスを含み、遠回りな表現になったもの。
- His words **could** be true. 「彼の言葉は本当かもしれない。」〈推量・可能性〉  
※ can に比べて、より控えめな表現。
- I **could** eat a horse.  
「(私は馬一頭を食べられるかもしれない→) お腹がぺこぺこだ。(熟語)」〈推量・仮定〉  
※ 現実に食べられるわけではないが、仮定的に推量する表現。
- **Could** you put this into English? 「これを英語に訳していただけますか。」〈控えめな依頼〉  
※ Can you ～? よりも仮定のニュアンスが強く、より丁寧な表現。
- [参考] 〈仮定法過去〉は、助動詞の過去形で現在の反実仮想(事実に反する仮定や想像)を表す。  
□ If you were here now, you **could** see the truth. 〈仮定法過去〉  
「もしあなたが今ここにいれば、真相を知ることができるだろうに(実際はできない)。」

## C 演習 3 : 基本問題 和訳しなさい。

1. The ball hit me in the face before I could dodge.

「

」

2. Could you please drive me to the supermarket?

「

」

3. Could I have your name, please?

「

」

4. I could take you there if you wanted.

「

」

## 演習 3 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 「かわす間もなくボールが私の顔にあたった。」※「私がかかわせる前に～」が直訳で、この **could** は〈可能〉の意味と判断できる。hit は三単現の -s がないので過去形。dodge 「かわす」は球技ドッジボールから連想する。
2. 「スーパーマーケットまで車で連れて行っていただけますか。」※ Could you ～? で「(できれば) ～していただけますか」という〈丁寧な依頼〉を表し、please を加えることでさらに丁寧になる。drive O to → 「O を車で～へ連れて行く」。
3. 「お名前を教えてくださいませんか。」※丁寧な人に名前
- を尋ねるときの定番表現で、日本語の「お名前をいただけますか。」に近い。Could は May (より正式なニュアンス) や Can (より気安い) にしても通じる。
4. 「お望みでしたら私がそこまであなたをお連れできますが。」※現在形で表現すると I can take you if you want. 「もしあなたが望むなら、私があなたをそこへ連れて行けます。」となる。これを過去形にすることで仮定の意味が加わり、より控えめな表現になる。大切なのは、過去形であっても現在の〈提案〉を意味していることである。

## 解説 4

- <could have + 過去分詞> は、「～だったかもしれない」〈「過去」の推量〉や、  
「～できただろうに（実際はできなかった）」〈仮定法過去完了（「過去」の反実仮想）〉と訳せる。
- I **could have been** wrong. 「私は間違っていたかもしれない。」〈過去の推量〉  
cf. □ I **could be** wrong. 「私は間違っているかもしれない。」〈現在の控えめな推量〉
- You **could have died**. 「(あなたは死んでいたかもしれない→) 死ぬところだったぞ。」
- We **could have avoided** the situation. 「私たちはその状況を避けられたはずだ。」
- 助動詞に〈完了〉の have を加えると時制が過去にずれる。この原則は、他の助動詞にもあてはまる。
- [参考] 〈仮定法過去完了〉は助動詞の過去完了形で「過去」の反実仮想を表す。
- If you had been here then, you **could have seen** the truth. 〈仮定法過去完了〉  
「もしあなたがそのときここにいれば、真相を知ることができただろうに。」  
cf. □ If you were here now, you **could see** the truth. 〈仮定法過去〉  
「もしあなたが今ここにいれば、真相を知ることができるだろうに。」
- <can't/couldn't have + 過去分詞> は、「～だったはずがない」〈過去の強い推量〉と訳せる。
- She **can't/couldn't** have been with you. I was with her at that time.  
「彼女があなたといたはずがない。そのとき私が彼女といたのだから。」〈過去の強い推量・可能性〉  
※ can't と couldn't で細かなニュアンスの違いはあるが、どちらも同じ意味と考えてよい。

## D 演習 4：基本問題 和訳しなさい。

- They could have gone the wrong way.  
「  
」
- She could have helped him, but she didn't.  
「  
」
- Such an accident cannot have happened.  
「  
」
- I couldn't have succeeded without your advice.  
「  
」

## 演習 4：解答・解説

暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 「彼らは間違っただ道を進んでしまったかもしれない（道を間違えたかもしれない）。」 ※過去の推量を表す could have gone. 〈可能性〉のニュアンスを含む。
- 「彼女は彼を手伝った（助けられた）かもしれないが、そうしなかった。」 ※ could have helped で過去の推量を表し（〈可能〉のニュアンスを含む）、but 以下の過去形で過去の現実を表す。
- 「そんな事故が起きたはずがない。」 ※ cannot
- 「あなたのアドバイスがなければ私は成功できなかっただろう。」 ※過去の推量を表す couldn't have succeeded で、〈可能〉のニュアンスを含む。without 以降が条件を表す〈仮定法過去完了〉の文で、「実際は成功した」という含みがある。

年	組	番	氏名	C / 4
実施日				D / 4
			年 月 日	

検印